

た福祉全般にわたり業務が一
元化されることになりましたの
で、より迅速で、よりきめ細
やかに町民の需要に対応して
まいります。

高齢者福祉は、町内巡回バ
ス路線の見直しを進め、利便
性の高い路線を図りながら、
引き続き温泉入浴券の支給デ
イサービス事業を行うなど、
各種の対策を推進します。ま
た、シルバー人材センターや
各老人クラブの活動支援や地
域包括支援センターによる予
防介護に努め、健康と福祉の
充実を図ります。

児童福祉は、将来の長島町
を担う子供たちを育むため、
保育所の保護者負担金軽減や
延長保育等特別保育対策事業
により、子育て支援を強力に
進めます。

保健予防は、今年度新たに
2歳児までの医療費を全額補
助するほか、小学3年就学時
までの保護者の負担を軽減い
たします。また、生活習慣病
予防の啓発や各種健診を充実
するとともに、平尾診療所に
画像読取装置を導入し医療機

関とのネットワークを整備
し、診療体制を強化いたしま
す。

●環境衛生

ごみの減量化は、地球規模
での取組みが求められていま
すが、町民の理解も高まりを
見せておりますので、衛生自
治団体連合会を中心として分
別、減量化を更に推進するこ
とで、資源循環型社会の構築
を図ります。

生活排水処理は、現在進め
ている各地区、各方式での処
理方法に従い、事業推進を図
り、水質浄化を進めます。

簡易水道事業は、旧両町の
料金統一が図られましたの
で、水道水の安定供給のた
め、本年度旧長島町地区の水
道施設台帳整備に着手しま
す。

●教育

「長島を担う創造性豊かな
魅力ある人材を育む郷中教
育・文化のまちづくり」を
念頭に学校教育、社会教育の
充実や特色あるスポーツの振

興、薰り高い文化の醸成に努
めます。

幼児教育は、預り保育や地
域の特性を生かした教育プロ
グラムの実践に努めるとも
に、施設の補修を行います。

小中学校は、校舎の維持補
修工事を進め、安全管理に万
全を期するとともに、基礎的
学力の向上に努めます。ま
た、今年度新たに、町単独事
業として、鷹巣小学校で放課
後子ども教室推進事業を実施
いたします。

生涯教育は、各種学級の開
設や社会体育事業を拡充し、
町民の学びの環境づくりに努
めます。また、文化協会の支
援や自主文化事業による芸術
鑑賞の機会を提供してまいり
ます。さらに、総合町民体育
館の駐車場拡張を行い、生涯
スポーツ、競技スポーツの振
興を図ります。

●地域振興

これまで20年間実施してお
りましたあづま造形美術展を
新生長島町を代表するイベン
トとして、また、町民の融和

と力を結集して、「第1回長
島造形美術展」を開催し、長
島から大きな感動を世界へ発
信すると同時に、観光ともタ
イアップした保存施設の整備
に努めてまいります。

次に、緊急な課題として、
この3月で閉校することとな
りました長島高校の跡地対策
があります。鹿児島県や各
方面との連携を図りながら、
定住促進につながるよう企
業誘致運動を進めてまいりま
す。

●魅力ある 観光地づくり

4年後は、九州新幹線が全
線開通し、九州管内での観光
移動が大きく変化するものと
予測されます。これに対応し
て、いち早く魅力ある観光地
づくりに努力する必要があります。
幸いにして、黒之瀬戸
大橋公園を起点にした上り浜
海岸、小浜海水浴場までの西

海岸には、県からも大きな関
心をいただいております。町
としても県との連携を強めな
がら、農林水産物の販売促

進、夕日、鶴の北帰行、雲仙
天草国立公園等豊かな自然と
の融合が図られた観光ルート
の整備が急がれており、本年
度がスタートの年と位置づけ
ているところであります。更
に、町民が誇りをもてる個性
豊かなまちづくりのため、長
島町ふるさと景観条例を制定
し、町民はもとより、国、県
と一体的な街並みづくりに努
めてまいります。

公共事業を含めた諸施策の
充実を図ることは重要であり
ますが、健全財政を保つとい
うことが基本であります。よ
り具体的には、平成18年度か
ら取り組んでおります経常収
支比率、公債費比率、起債借
入の適正化に注意しながら、
ヤミ債の解消など持続可能な
財政の運営に努めてまいりま
す。町の貴重な財源を有効に
活用し、最大の行政効果をお
けるため、全職員一丸となつ
て努めてまいりますので、町
民各位と議会の皆さまの理解
とご協力を切にお願いいた
します。